

問1 「貧すれば鈍す」の意味はどれですか？

1. 貧しい生活を送ることで、かえって精神が鍛えられる
2. 生活が貧しくなると、心まで卑しくなり知恵も働かなくなる
3. 貧乏な状態では、他人に寛容になれない
4. 金銭的に余裕がないと、判断力が鋭くなる

問2 「画竜（ ）を欠く」の（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 点眼
2. 点睛
3. 点灯
4. 点描

問3 「豹変」の意味はどれですか？

1. 素早く行動すること
2. 動物の豹に変身すること
3. 派手に目立つこと
4. 態度や意見が急に変わることに

問4 「多芸は（ ）芸」の（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 全
2. 無
3. 一
4. 多

問5 「当たって」に続く言葉はどれですか？

1. 進めろ
2. 倒れろ
3. 壊れろ
4. 砕けろ

問6 「魚の目に（ ）見えず」の（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 空
2. 水
3. 光
4. 風

問7 「同病相憐む」の意味はどれですか？

1. 同じ病気にかかった者同士は治療法を共有する
2. 病気にかかると他人の痛みがよく理解できる
3. 同じ悩みや苦しみを持つ者は互いに同情し合うものだ
4. 病気は伝染しやすいので注意が必要だ

問8 「喉元過ぎれば」に続く言葉はどれですか？

1. 熱さを避ける
2. 熱さを忘れる
3. 熱さを知る
4. 熱さを耐える

問9 「敵を知り（ ）を知れば百戦殆うからず」の（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 味方
2. 相手
3. 己
4. 戦況

問10 「人を呪わば（ ）二つ」の（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 穴
2. 道
3. 墓
4. 罪

問11 「鶴は千年（ ）は万年」の（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 鷹
2. 亀
3. 鯉
4. 鹿

問12 「春眠暁を覚えず」の意味はどれですか？

1. 春は眠気が強く、朝早く起きるのが難しい
2. 春の朝は日が昇るのが遅いので眠い
3. 春の眠りは浅く、夜明けとともに目が覚める
4. 春の夜は心地よく、夜が明けたことにも気づかず眠ってしまう

問13 「矛盾」の意味はどれですか？

1. 非常に鋭い武器で何でも突き通すこと
2. 二つの相反する事柄が同時に存在すること
3. 前後のつじつまが合わないこと
4. 自分の主張を最後まで貫き通すこと

問14 「渾然一体」の意味はどれですか？

1. 複数の意見が対立して、收拾がつかなくなっている状態
2. 性質の異なるものが溶け合って、一つの完全なものになっている様子
3. すべてが計画通りに進み、隙のない状態
4. 物事の善悪が混ざり合って、区別がなくなっていること

問15 「（ ）を固く守る」の（ ）に入る言葉はどれですか？

1. 厳守
2. 保守
3. 堅守
4. 墨守

問16 「万緑叢中紅一点」の意味はどれですか？

1. 多くの緑の中に鮮やかな赤い花が一つ咲いているように、多くの男性の中に女性が一人混じっていること
2. 自然の風景の中で、赤色が最も美しく見えること
3. たくさんの緑の中に赤い花が混ざっており、非常に目立つこと
4. 多くの平凡なものの中に、一つだけ優れたものが存在すること

問17 「弁慶の泣き所」の意味はどれですか？

1. 弁慶が戦いで負傷して泣いたという伝説の場所のこと
2. 誰にでもある、精神的に弱い部分のこと
3. すねの骨のすぐ下の、少しぶつけただけでも非常に痛い箇所のこと
4. 強そうに見える人でも、実は弱い部分があるということ

問18 「鯉の滝登り」の意味はどれですか？

1. 困難を乗り越えて成長すること
2. 立身出世のたとえ
3. 勢いが激しいことのたとえ
4. 無謀な挑戦をすること

答え合わせ・解説

問1	答え 2 生活が貧しくなると、心まで卑しくなり知恵も働かなくなる	「貧すれば鈍す」は「生活が貧しくなると、心まで卑しくなり知恵も働かなくなる」という意味です。
問2	答え 2 点睛	「画竜点睛を欠く」の「点睛」の部分が入ります。意味は「物事を完成させるための肝心の仕上げが抜けていること」です。
問3	答え 4 態度や意見が急に変わること	「豹変」は「態度や意見が急に変わること」という意味です。
問4	答え 2 無	「多芸は無芸」の「無」の部分が入ります。意味は「多くの芸事をつまみ食いする者は、結局どれも中途半端で極められないということ」です。
問5	答え 4 砕けろ	「当たって砕けろ」の続きは「砕けろ」です。意味は「結果を恐れず、思い切ってやってみること」です。
問6	答え 2 水	「魚の目に水見えず」の「水」の部分が入ります。意味は「あまりに身近な存在であるために、その大切さや存在に気づかないこと」です。
問7	答え 3 同じ悩みや苦しみを持つ者は互いに同情し合うものだ	「同病相憐む」は「同じ悩みや苦しみをを持つ者は互いに同情し合うものだ」という意味です。
問8	答え 2 熱さを忘れる	「喉元過ぎれば熱さを忘れる」の続きは「熱さを忘れる」です。意味は「苦しい経験も過ぎ去ってしまえば、その苦しさを忘れてしまうこと」です。
問9	答え 3 己	「敵を知り己を知れば百戦殆うからず」の「己」の部分が入ります。意味は「敵と自分の実力を正しく把握していれば、何度戦っても負けることはないということ」です。
問10	答え 1 穴	「人を呪わば穴二つ」の「穴」の部分が入ります。意味は「人に害を与えれば、自分も同じ報いを受けることになるということ」です。
問11	答え 2 亀	「鶴は千年亀は万年」の「亀」の部分が入ります。意味は「鶴と亀は非常に寿命が長い動物であることのとえ」です。
問12	答え 4 春の夜は心地よく、夜が明けたことにも気づかず眠ってしまう	「春眠暁を覚えず」は「春の夜は心地よく、夜が明けたことにも気づかず眠ってしまう」という意味です。
問13	答え 3 前後のつじつまが合わないこと	「矛盾」は「前後のつじつまが合わないこと」という意味です。
問14	答え 2 性質の異なるものが溶け合って、一つの完全なものになっている様子	「渾然一体」は「性質の異なるものが溶け合って、一つの完全なものになっている様子」という意味です。
問15	答え 4 墨守	「墨守」の「墨守」の部分が入ります。意味は「自分の主張や信念を固く守って変えないこと」です。
問16	答え 1 多くの緑の中に鮮やかな赤い花が一つ咲いているように、多くの男性の中に女性が一人混じっていること	「万緑叢中紅一点」は「多くの緑の中に鮮やかな赤い花が一つ咲いているように、多くの男性の中に女性が一人混じっていること」という意味です。
問17	答え 3 すねの骨のすぐ下の、少しぶつただけでも非常に痛い箇所のこと	「弁慶の泣き所」は「すねの骨のすぐ下の、少しぶつただけでも非常に痛い箇所のこと」という意味です。
問18	答え 2 立身出世のたとえ	「鯉の滝登り」は「立身出世のたとえ」という意味です。